

野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド (野村SMA向け)

運用報告書(全体版)

第11期 (決算日2024年2月13日)

作成対象期間 (2023年2月11日～2024年2月13日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2013年12月4日以降、無期限とします。	
運用方針	世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) 受益証券を通じて、主として日本を含む世界先進主要国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行なうことを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、当ファンドにおいては原則として為替ヘッジを行ないません。	
主な投資対象	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド (野村SMA向け)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド (野村SMA向け)	株式への直接投資は行ないません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。 株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指標	債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金	込配	み騰落率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
7期(2020年2月10日)	10,641		10	2.7	△0.11	70.2	—	8,834
8期(2021年2月10日)	10,707		10	0.7	△0.09	75.1	—	12,493
9期(2022年2月10日)	10,301		10	△3.7	△0.05	61.0	—	12,963
10期(2023年2月10日)	9,867		0	△4.2	0.07	75.1	—	12,258
11期(2024年2月13日)	9,663		0	△2.1	0.06	93.9	—	7,310

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指標は2021年12月まで1ヵ月円LIBORを使用しておりましたが、2022年1月からは1ヵ月円TIBORに変更しております。参考指標の騰落率は、1ヵ月円LIBORと1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率	騰落率
		騰落	率				
(期首) 2023年2月10日	円 9,867		% —	% —	% 75.1	% —	% —
2月末	9,792		△0.8	0.00	77.7	—	—
3月末	9,880		0.1	0.01	87.5	—	—
4月末	9,870		0.0	0.01	87.9	—	—
5月末	9,822		△0.5	0.02	86.2	—	—
6月末	9,785		△0.8	0.02	82.6	—	—
7月末	9,750		△1.2	0.02	76.9	—	—
8月末	9,706		△1.6	0.03	78.2	—	—
9月末	9,502		△3.7	0.03	81.0	—	—
10月末	9,455		△4.2	0.04	85.6	—	—
11月末	9,663		△2.1	0.04	78.3	—	—
12月末	9,825		△0.4	0.05	89.5	—	—
2024年1月末	9,709		△1.6	0.05	92.6	—	—
(期末) 2024年2月13日	9,663		△2.1	0.06	93.9	—	—

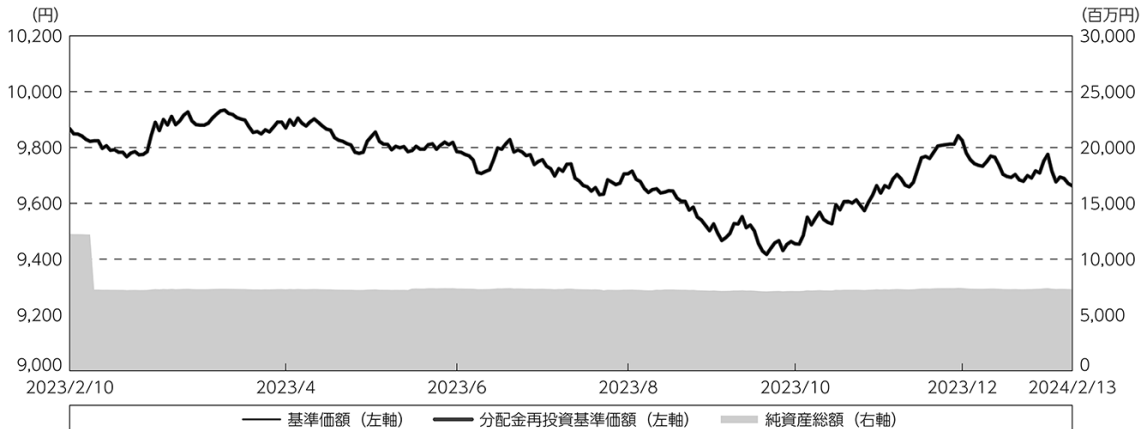
* 騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,867円

期 末：9,663円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△2.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年2月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指標は、1ヵ月円TIBORであり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしていません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は2.07%の下落

基準価額は、期首9,867円から期末9,663円に204円の値下がりとなりました。

（上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

（上昇）米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

（下落）債券利回りが上昇（価格は下落）したことによるキャピタルロス（値下がり損）。

（下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○投資環境

債券市場＜国債利回りは米国・ドイツ・日本で上昇＞

米国市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めなどを背景に、債券利回りは上昇しました。雇用市場に減速の兆しが見えたことなどを背景に、債券利回りは急速に低下（価格は上昇）する局面もあったものの、期を通じては債券利回り上昇となりました。

ユーロ圏では、ECB（欧州中央銀行）がインフレ率の高止まりに警戒感を示しながら金融引き締めを継続したことなどから、ドイツの債券利回りは上昇基調で推移しました。域内景気の悪化などから、市場の一部でECBの金融引き締め姿勢の転換に対する期待が高まったことなどが利回り低下圧力となったものの、期を通じては、利回りは小幅に上昇しました。

日本では、2023年7月、10月の金融政策決定会合で、日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の10年国債利回りの許容変動幅を実質的に拡大し、同政策の運営を柔軟化したことなどから、債券利回りは上昇しました。

為替市場＜米ドル、ユーロは円に対して上昇＞

日銀の金融引き締め方向での政策修正の可能性が市場で意識されたことなどを背景に、米ドルやユーロが円に対して下落する局面はあったものの、期を通じては、海外の中央銀行と日銀の金融政策スタンスの違いを背景に、米ドルやユーロは円に対して上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）]

期を通じて〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド]

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションについては、期初に2.5年程度としていましたが、債券利回りが上昇する中で段階的に長期化し、期末には4.5年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～6%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるための短・中期債への投資に加えて、長期債にも投資しました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円TIBORの収益率※が+0.06%となったのに対し、基準価額の騰落率は-2.07%となりました。

※期中における1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

（主なプラス要因）

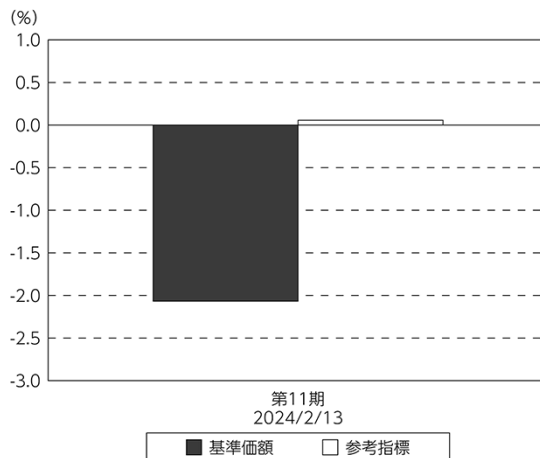
債券を保有していたことによるインカムゲイン。

米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

（主なマイナス要因）

債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。
対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

基準価額と参考指標の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指標は、1ヵ月円TIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、お支払いを見送りました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第11期
	2023年2月11日～ 2024年2月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,436

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

[野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）]

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年 2 月11日～2024年 2 月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.532	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(43)	(0.444)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	53	0.541	
期中の平均基準価額は、9,729円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

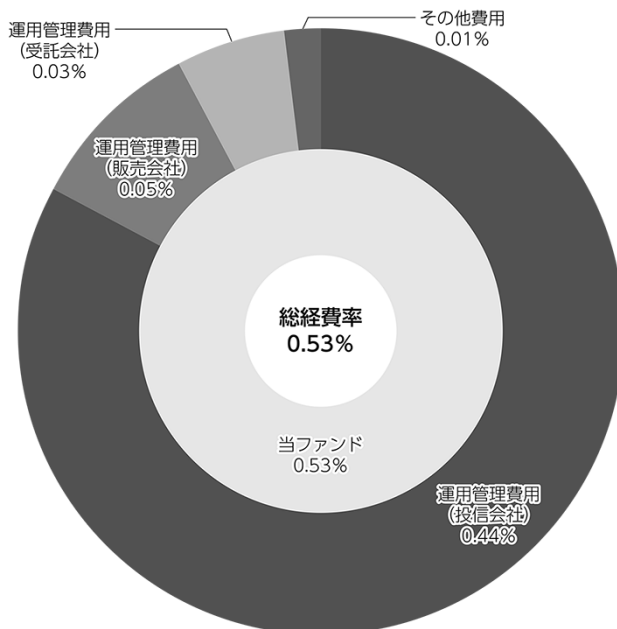
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.53%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドの其他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月11日～2024年2月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千口 207,617	千円 259,500	千口 4,029,940	千円 5,066,500

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月11日～2024年2月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千口 9,694,697	千口 5,872,374	千円 7,303,472

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年2月13日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千円 7,303,472	% 99.6
コール・ローン等、その他	26,719	0.4
投資信託財産総額	7,330,191	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（21,304,882千円）の投資信託財産総額（23,403,874千円）に対する比率は91.0%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.39円、1カナダドル=111.05円、1英ポンド=188.62円、1スウェーデンクローナ=14.36円、1ノルウェークローネ=14.22円、1ユーロ=160.92円、1ズロチ=37.3366円、1シンガポールドル=111.05円、1リンギ=31.3534円、1豪ドル=97.51円、1ニュージーランドドル=91.47円、1新シッケル=40.8852円、1メキシコペソ=8.7527円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年2月13日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	7,330,191,984
コール・ローン等	26,519,942
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(評価額)	7,303,472,042
未収入金	200,000
(B) 負債	19,743,522
未払信託報酬	19,661,653
未払利息	2
その他未払費用	81,867
(C) 純資産総額(A-B)	7,310,448,462
元本	7,565,510,345
次期繰越損益金	△ 255,061,883
(D) 受益権総口数	7,565,510,345口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,663円

(注) 期首元本額は12,423,613,565円、期中追加設定元本額は267,955,557円、期中一部解約元本額は5,126,058,777円、1口当たり純資産額は0.9663円です。

○損益の状況（2023年2月11日～2024年2月13日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,831
受取利息	1
支払利息	△ 5,832
(B) 有価証券売買損益	△ 111,234,725
売買益	23,401,075
売買損	△ 134,635,800
(C) 信託報酬等	△ 39,668,796
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 150,909,352
(E) 前期繰越損益金	△ 436,764,063
(F) 追加信託差損益金	332,611,532
(配当等相当額)	(664,583,001)
(売買損益相当額)	(△ 331,971,469)
(G) 計(D+E+F)	△ 255,061,883
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 255,061,883
追加信託差損益金	332,611,532
(配当等相当額)	(665,053,592)
(売買損益相当額)	(△ 332,442,060)
分配準備積立金	421,783,266
繰越損益金	△1,009,456,681

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年2月11日～2024年2月13日）は以下の通りです。

項目	当期
	2023年2月11日～ 2024年2月13日
a. 配当等収益(経費控除後)	123,634,800円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	665,053,592円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	298,148,466円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,086,836,858円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,436円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド

運用報告書

第19期（決算日2024年2月13日）

作成対象期間（2023年2月11日～2024年2月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として、運用を行なうことを基本とします。 公社債への投資にあたっては、流動性の高い高格付の公社債に投資することを基本とし、為替ヘッジベースでの利回り水準、各国の金利見通し等を勘案してポートフォリオを構築することで、収益の確保を目指します。さらに、カンントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで、収益の獲得および利回りの向上を目指します。なお、先物取引等も適宜活用します。 邦貨建て資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行なった資産の額との合計額（実質的な邦貨建て資産の額）については、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。なお、外貨建資産の他通貨による代替ヘッジについては、信託財産の純資産総額の10%程度の範囲内で行ないます。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に限りに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率				
	円		%	%	%	%	百万円
15期(2020年2月10日)	13,377		3.2	△0.11	70.2	—	26,857
16期(2021年2月10日)	13,551		1.3	△0.09	75.2	—	32,258
17期(2022年2月10日)	13,118		△3.2	△0.05	61.1	—	31,299
18期(2023年2月10日)	12,632		△3.7	0.07	75.2	—	29,521
19期(2024年2月13日)	12,437		△1.5	0.06	94.0	—	22,992

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指標は2021年12月末まで1ヵ月円LIBORを使用しておりましたが、2022年1月からは1ヵ月円TIBORに変更しております。参考指標の騰落率は、1ヵ月円LIBORと1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

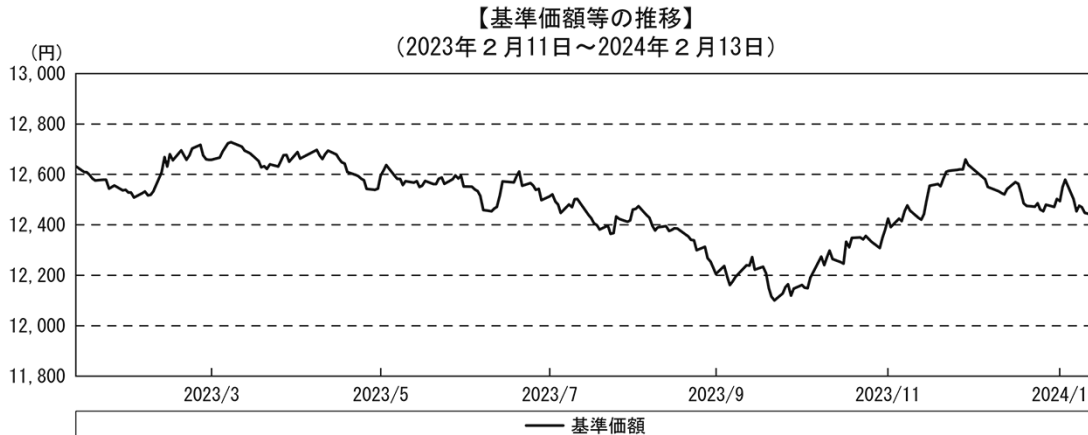
年月日	基準	価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落	率				
(期首) 2023年2月10日	円		%	%	%	%	%
	12,632		—	—	75.2	—	—
2月末	12,539		△0.7	0.00	77.8	—	—
3月末	12,658		0.2	0.01	87.6	—	—
4月末	12,650		0.1	0.01	88.0	—	—
5月末	12,594		△0.3	0.02	86.3	—	—
6月末	12,552		△0.6	0.02	82.7	—	—
7月末	12,513		△0.9	0.02	76.9	—	—
8月末	12,463		△1.3	0.03	78.3	—	—
9月末	12,205		△3.4	0.03	81.1	—	—
10月末	12,151		△3.8	0.04	85.7	—	—
11月末	12,424		△1.6	0.04	78.3	—	—
12月末	12,638		0.0	0.05	89.6	—	—
2024年1月末	12,494		△1.1	0.05	92.7	—	—
(期末) 2024年2月13日							
	12,437		△1.5	0.06	94.0	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指標は、1ヵ月円TIBORであり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしていません。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は1.54%の下落

基準価額は、期首12,632円から期末12,437円に、195円の値下がりとなりました。

(上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

(上昇) 米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

(下落) 債券利回りが上昇（価格は下落）したことによるキャピタルロス（値下がり損）。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○当ファンドのポートフォリオ

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションについては、期初に2.5年程度としていましたが、債券利回りが上昇する中で段階的に長期化し、期末には4.5年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～6%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるための短・中期債への投資に加えて、長期債にも投資しました。

※ 外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円TIBORの収益率※が+0.06%となったのに対し、基準価額の騰落率は-1.54%となりました。

※ 期中における1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

(主なプラス要因)

債券を保有していたことによるインカムゲイン。

米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

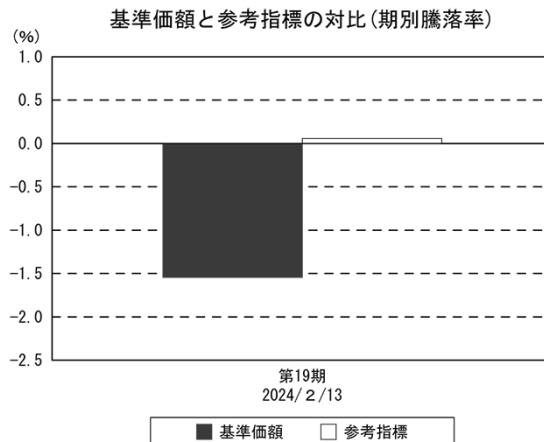
(主なマイナス要因)

債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。
対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(注) 参考指標は、1ヵ月円TIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月11日～2024年2月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.006	
(そ の 他)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.006	
期中の平均基準価額は、12,490円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月11日～2024年2月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
国 内	国債証券	千円 2,291,477	千円 1,989,564	
	特殊債券	—	— (500,000)	
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 187,365	
		特殊債券	— (2,500)	
	カナダ	国債証券	千カナダドル 2,254	千カナダドル — (2,900)
		国債証券	千英ポンド 7,316	千英ポンド —
スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローナ 4,930	千スウェーデンクローナ — (22,000)	
ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 39,388	千ノルウェークローネ 21,595 (22,000)	

		買 付 額	売 付 額	
外	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	
	ドイツ	国債証券	17,453	24,189
		特殊債券	4,654	—
	イタリア	国債証券	10,693	35,428
	フランス	国債証券	2,503	724
	スペイン	国債証券	17,785	39,009
	ベルギー	国債証券	23,732	20,328
国	ポーランド	国債証券	千ズロチ	千ズロチ
			1,945	—
	オーストラリア	国債証券	千豪ドル	千豪ドル
		特殊債券	8,851	6,291
			—	2,832
ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	
		10,411	11,568	
メキシコ	国債証券	千メキシコペソ	千メキシコペソ	
		—	121,026	

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月11日～2024年2月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月13日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	400,000	403,595	1.8	—	1.3	0.5	—	
	(100,000)	(104,862)	(0.5)	(—)	(—)	(0.5)	(—)	
特殊債券 (除く金融債)	200,000	200,497	0.9	—	—	—	0.9	
	(200,000)	(200,497)	(0.9)	(—)	(—)	(—)	(0.9)	
合 計	600,000	604,092	2.6	—	1.3	0.5	0.9	
	(300,000)	(305,359)	(1.3)	(—)	(—)	(0.5)	(0.9)	

* ()内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付(10年)第372回	0.8	200,000	201,980	2033/9/20
国庫債券 利付(30年)第77回	1.6	100,000	96,753	2052/12/20
ポーランド共和国 第13回円貨社債(2012)	2.5	100,000	104,862	2027/11/8
小 計		400,000	403,595	
特殊債券(除く金融債)				
フランス預金供託公庫 第4回円貨債券(2014)	0.725	200,000	200,497	2024/7/30
小 計		200,000	200,497	
合 計		600,000	604,092	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	60,900	59,816	8,936,037	38.9	—	14.9	16.3	7.7
カナダ	千カナダドル 2,300	千カナダドル 2,276	252,818	1.1	—	—	—	1.1
イギリス	千英ポンド 9,300	千英ポンド 9,342	1,762,129	7.7	—	5.2	2.5	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 5,000	千スウェーデンクローナ 4,956	71,175	0.3	—	—	—	0.3
ノルウェー	千ノルウェークローネ 19,000	千ノルウェークローネ 18,971	269,771	1.2	—	—	—	1.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	9,700	8,862	1,426,229	6.2	—	4.4	1.8	—
イタリア	4,000	4,196	675,220	2.9	—	2.9	—	—
フランス	1,700	1,790	288,132	1.3	—	1.3	—	—
スペイン	16,100	16,087	2,588,873	11.3	—	2.5	8.7	—
ベルギー	11,800	10,376	1,669,761	7.3	—	7.3	—	—
ポーランド	千ズロチ 2,000	千ズロチ 1,950	72,807	0.3	—	—	—	0.3
オーストラリア	千豪ドル 22,100	千豪ドル 20,992	2,046,996	8.9	—	2.3	6.6	—
メキシコ	千メキシコペソ 116,000	千メキシコペソ 107,593	941,733	4.1	—	4.1	—	—
合 計	—	—	21,001,686	91.3	—	44.8	36.0	10.6

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末					償還年月日
		利率	額面金額	評価額		外貨建金額	
				千米ドル	千円		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY N/B	3.875	12,000	11,867	1,772,897	2026/1/15
		US TREASURY N/B	4.0	12,000	11,896	1,777,274	2026/2/15
		US TREASURY N/B	2.75	4,200	3,979	594,558	2028/2/15
		US TREASURY N/B	2.875	1,600	1,519	227,035	2028/5/15
		US TREASURY N/B	3.125	3,800	3,633	542,823	2028/11/15
		US TREASURY N/B	2.625	10,500	9,783	1,461,550	2029/2/15
		US TREASURY N/B	4.5	12,800	13,124	1,960,594	2033/11/15
	特殊債券 (除く金融債)	JAPAN BANK FOR INTL COOP	4.625	4,000	4,011	599,303	2028/7/19
小	計					8,936,037	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	2.75	2,300	2,276	252,818	2024/8/1
小	計					252,818	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	国債証券	UK TREASURY	4.25	5,500	5,600	1,056,315	2032/6/7
		UK TREASURY	3.75	800	690	130,296	2053/10/22
		UNITED KINGDOM GILT	4.5	3,000	3,051	575,516	2028/6/7
小	計					1,762,129	
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	2.5	5,000	4,956	71,175	2025/5/12
小	計					71,175	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	3.0	19,000	18,971	269,771	2024/3/14
小	計					269,771	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESREP. DEUTSCHLAND	2.6	1,700	1,736	279,486	2033/8/15
	特殊債券 (除く金融債)	KFW	3.125	2,600	2,642	425,190	2028/10/10
		KFW	0.125	3,000	2,436	392,001	2032/1/9
		LANDWIRTSCH. RENTENBANK	—	2,400	2,047	329,551	2029/11/27
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.4	4,000	4,196	675,220	2033/5/1
フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	3.5	1,700	1,790	288,132	2033/11/25
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.8	12,500	12,458	2,004,875	2026/5/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.15	1,800	1,788	287,802	2033/4/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.55	1,800	1,840	296,195	2033/10/31
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	0.9	7,500	6,860	1,104,017	2029/6/22
		BELGIUM KINGDOM	0.35	4,300	3,515	565,743	2032/6/22
小	計					6,648,216	
ポーランド				千ズロチ	千ズロチ		
	国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	3.25	2,000	1,950	72,807	2025/7/25
小	計					72,807	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	3.0	3,000	2,722	265,477	2033/11/21
	特殊債券 (除く金融債)	BNG BANK NV	3.3	4,300	4,096	399,454	2028/7/17
		KOMMUNALBANKEN AS	0.6	4,000	3,666	357,478	2026/6/1

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア	%	千豪ドル	千豪ドル	千円		
特殊債券 (除く金融債)	KOMMUNALBANKEN AS LANDWIRTSCH. RENTENBANK	2.4 4.75	3,000 7,800	2,637 7,870	257,163 767,423	2029/11/21 2026/5/6
小 計				2,046,996		
メキシコ		千メキシコペソ	千メキシコペソ			
国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	116,000	107,593	941,733	2031/5/29
小 計				941,733		
合 計				21,001,686		

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	21,605,778	92.3
コール・ローン等、その他	1,798,096	7.7
投資信託財産総額	23,403,874	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産（21,304,882千円）の投資信託財産総額（23,403,874千円）に対する比率は91.0%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.39円、1カナダドル=111.05円、1英ポンド=188.62円、1スウェーデンクローナ=14.36円、1ノルウェークローネ=14.22円、1ユーロ=160.92円、1ズロチ=37.3366円、1シンガポールドル=111.05円、1リンギ=31.3534円、1豪ドル=97.51円、1ニュージーランドドル=91.47円、1新シエケル=40.8852円、1メキシコペソ=8.7527円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	43,506,086,618
コール・ローン等	1,565,114,838
公社債(評価額)	21,605,778,799
未収入金	20,102,266,347
未収利息	114,453,595
前払費用	118,473,039
(B) 負債	20,513,655,721
未払金	20,506,655,602
未払解約金	7,000,000
未払利息	119
(C) 純資産総額(A-B)	22,992,430,897
元本	18,486,964,017
次期繰越損益金	4,505,466,880
(D) 受益権総口数	18,486,964,017口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,437円

(注) 期首元本額は23,370,110,817円、期中追加設定元本額は399,360,173円、期中一部解約元本額は5,282,506,973円、1口当たり純資産額は1,2437円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMI・E向け) 7,488,214,536円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMI向け) 5,872,374,401円
- ・世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型(非課税適格機関投資家専用) 4,807,454,805円
- ・オールウェザー・ファクターアロケーションオープン投信(適格機関投資家専用) 318,920,275円

○損益の状況 (2023年2月11日～2024年2月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	563,419,328
受取利息	564,971,928
支払利息	△ 1,552,600
(B) 有価証券売買損益	△ 963,728,568
売買益	4,542,528,692
売買損	△5,506,257,260
(C) 保管費用等	△ 1,506,311
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 401,815,551
(E) 前期繰越損益金	6,151,484,243
(F) 追加信託差損益金	100,539,827
(G) 解約差損益金	△1,344,741,639
(H) 計(D+E+F+G)	4,505,466,880
次期繰越損益金(H)	4,505,466,880

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。